

草地広場と樹木を守るため 引き続き取り組みます！

前区政の計画通りに第二期工事が進められたら・・・

自民・公明の「変更案」否決により「現行案」復活！ このままでは、公園の使い勝手・様相は大きく変わってしまいます！

平和の森公園は総面積約54,700㎡に及び、その広さにおいて中野区内で1、2位を争う、かけがえのない『中野の宝』です。ここにあるのが、草地広場(約11,600㎡)です。平日は親子連れや保育園の子どもたちが数多く訪れ、紙飛行機や凧揚げをする高齢者、ウォーキングやランニングをする大人たちとともに、同じ空間で自然に親しみながら十分に身体を動かしてのびのびと遊んでいます。また、学校の課外授業や保育園・幼稚園遠足などにも使われてきました。休日には、家族連れが時にはグループで集まり、ボール遊びなどを思い思いに楽しむとともに、お弁当を食べる姿も多く見かけます。(※現在は工事中につきフェンスで囲まれ使用不可です。)

区民の声を活かし草地広場を守る 新区長による「変更案」



公園再整備第二工区「変更案」(中野区ホームページより)

※3月15日区議会本会議に提出され自民党・公明党の反対で否決されたもの

区民の声を聴かず草地広場を壊す 前区長による「現行案」



草地広場は、
●半分以上が、
300 疋トラック及び
100 疋コースに。
●真ん中に園内灯

- 原っぱ続きの築山は、コンクリートの滑り台に。
- 5基のバーベキューサイト設置。

樹木伐採について、防災樹林帯の検証をしているので、100本の間伐は今回の工事では行われませんが、ツツジなどの低木 12,385 本、桜などの中高木 57 本、合わせて 12,442 本もが伐採されます。

合計 17,000 本以上の樹木を伐採して良いと思いますか？

2016年11月に中野区が発表した「平和の森公園再整備基本設計」
(中野区ホームページより転載し加工)